

第 8 回関西学生フランス文学研究会

日時 令和元年 8 月 30 日 (金) 13 時開始
於 大阪大学文学部芸術研究棟 1 階芸 3 講義室 (豊中キャンパス)

第 1 部 (司会：大山賢太郎)

- 13:10～ 田村知也 (神戸大学修士課程 2 回生)
「ミラン・クンデラにおける鏡像と身体」(仮題)
- 13:45～ 三原大輝 (大阪大学修士課程 1 回生)
「『パンセ』草稿における「複読法」および草稿の運用について」
- 14:20～ 宮下拓也 (京都大学文学研究科博士課程 1 回生)
「baptiser et lever という表現について：ギヨーム・ドランジュ作品群の例から」

第 2 部 (司会：太田晋介)

- 15:15～ 涌井萌子 (大阪大学修士課程 1 回生)
「レ枢機卿のマザリナード」(仮題)
- 15:55～ 上田雅子 (京都大学文学研究科修士課程 2 回生)
「『ジュリエット物語または悪徳の栄え』研究—サン・フォンの悪の至高存在をめぐって—」
- 16:30～ 岡雅也 (神戸大学修士課程 1 回生)
「プルースト『失われた時を求めて』における病のイメージ」(仮題)

懇親会

問い合わせ先：大阪大学フランス文学研究室_太田晋介

ota@let.osaka-u.ac.jp